



～人と人とのつながりを大切に～

□ 発行元： 社会福祉法人 慈愛会
医療福祉センター 聖ヨゼフ園
□ 住所： 三井郡大刀洗町山隈374-1
□ 電話： 0942-77-1393
□ メール： volun@jiaikai-fuk.or.jp
□ 編集： 地域福祉部



第16号 2016年 4月発行

東日本大震災から5年、ボランティアの今…

【東日本大震災の発生】
2011年3月11日、東北地方太平洋沿部を襲った。この地震、津波によって亡くなった方は18,455人に上りま

【震災後のボランティア活動】
この震災の直後、全国各地に多くのボランティアが被災地の大きな力になりました。

【ボランティアの今】
震災の発生から5年が経ち、被災地の復興は進んでいない。復興は進んでいない。復興は進んでいない。



震災の直後は、汚泥や布の撤去、物資配りが必要とされた。その後、避難所から仮設住宅への移行、災害公営住宅の建設が進み、街が再建されていくにつれて、ボランティアの形も変化してきている。

(表1) (ボランティア数の推移)

2011年5月	182,400人
2012年3月	32,100人
2013年3月	12,600人
2014年3月	7,900人
2015年3月	5,400人
2016年2月	2,800人

【ボランティア数の推移】
震災発生から5年が経ち、被災地の復興は進んでいない。復興は進んでいない。復興は進んでいない。

【被災地の現状】
この5年という時間、被災地は復興の道を進んでいない。復興は進んでいない。復興は進んでいない。

【ボランティアの必要性】
被災地の復興には、ボランティアの力が不可欠である。ボランティアの力は、被災地の復興を支えるために必要である。



医療福祉センター 聖ヨゼフ園 ってどんなところ？

「重症心身障害児・者」の方の入所施設

重症心身障害とは、「重度の知的障害と重度の肢体不自由を併せ持った状態」を言います。当園の利用者様は、常時介護と、医療的なケアが必要な方です。寝たきりで身体を動かすことが難しい方、言葉やジェスチャー、表情で想いを表すのが難しい方もいらっしゃいます。とても口達者な方、手先が器用な方、歩いたり走ったり出来る方もいらっしゃいます。それぞれに出来る形でコミュニケーション方法や日々の楽しみを見つけています。



施設の特徴

定員120名で、下は乳幼児から上は65歳以上の方まで、幅広い年齢層の方が生活されています(平均年齢は40歳以上)。また、先に述べたとおり、当園は「医療的ケア」を必要とされている方が対象の施設です。そのため、医療設備等がある、医師や看護師が24時間常駐している等、福祉施設でありながら病院機能も持っていることが大きな特徴です。



どんなボランティアがあるの？

- 活動内容は様々です♪たとえば…
- お話し相手
 - 創作活動(工作、ちぎり絵・ぬりえ、利用者様の作品作成補助)
 - お散歩
 - ゲーム(トランプ、オセロ)
 - レクリエーション(ホーリング、病棟内での活動への参加)
 - ボランティアの方の趣味や特技披露 例:ダンス、音楽会(歌、ピアノやオカリナ等の楽器演奏) など…

いずれにしても、特別な知識や技術は必要ありません。「ちょっと行ってみようかな、やってみようかな」という気持ちだけであれば十分です!お一人からの見学でも大歓迎ですので、興味のある方はぜひお問い合わせください!

